「竹鳩橋の現状は」
『事業実現のため進めていく』

春成（はるなり） 勇（いさむ） 議員

問 竹鳩橋の架け替えについて平成28年私の一般質問では、高鍋地区道路検討会で国、県の担当者と協議しているとの答弁だったが現在の状況は。

町長 事業実現のため、あらゆる方法を模索しながら進めていきたい。

問 高鍋地区道路検討会が現在は竹鳩橋等整備促進期成同盟会になっているようだが内容について伺う。

町長 現在の竹鳩橋は、昭和34年に建設して63年が経過している。昭和61年に竹鳩橋の建て替えを要望したが通らず、また、平成4年、高速道路での高鍋インターチェンジのアクセス道路を検討した時も要望が通らなかった。現在は令和3年度に竹鳩橋のレスキュー道路として防衛省に要望している。

問 台風14号で鴫野地区と老瀬地区が浸水したようだが状況は。

建設管理課長 鴫野・持田地区は住宅の浸水はなかったが、道路・農地・介護施設の被害があった。老瀬地区は小丸川に堤防が無いため、浸水被害は防げなかった状況である。

問 台風14号で河川の増水による避難指示での避難所の状況は。

総務課長 町体育館・47世帯78名、総合体育館・182世帯411名、東児湯消防組合・22世帯56名、農業大学校・50世帯99名、南薩食鳥・14世帯32名、ホテル四季亭・38世帯109名、高鍋信用金庫・31世帯99名が避難されている。

問 高鍋駅にエレベーターを設置することは出来ないのか。

町長 JR九州に対し、エレベーター設置を含む駅のバリアフリーの要望を行っている。

問 9月議会で雲雀山地区において、横断側溝に車が通行すると音や振動で眠れなくて悩んでおられる、との意見を出したがその後は検討しているのか。

建設管理課長 段差解消のため、工事発注の準備をしているところである。

「高鍋駅利用者の利便性向上について」
『バリアフリー化をJR九州と協議を続ける』

加藤（かとう） 秀文（ひでふみ） 議員

問 高鍋駅は町の玄関口だと言われれるが、年齢を問わず階段が急なうえ階段幅が狭く上り下りの際転倒の危険性が高く、重大事故が起こる可能性がある。特急電車が停まる重要な駅だが、利用者の利便性を考慮し、安全に利用できる対策を町として考えられているのか。

町長 高鍋駅のバリアフリー化は、毎年県市町村等で構成する宮崎県鉄道整備促進期成同盟会からJR九州へ要望、その際私が直接要望している。

問 今の駅の状況では、特急電車が停まっても、駅の構造上の理由によりこのままでは利用者が減り、数年後には特急電車も停まらない駅になるのではないか、そこで階段が利用できない方については、以前利用できた線路に降りてホームまで渡る事は出来ないものか。

地域政策課長 バリアフリー化は提案の方法も参考に、JR九州との協議の中で検討してゆく。

意見 駅の構造上での相談は難しいと理解するが、利用方法については検討し交渉していただきたい。

◆蚊口浜海浜公園キャンプ場の改修及びオートキャンプ場への取り組みについて

問 コロナ感染症により、キャンプを楽しむ方が倍増している。現在キャンプ場の改修工事予定があると聞いているがオートキャンプ場化の予定は。

建設管理課長 オートキャンプでの利用もしたいという声も数多く聞いている。今後整備したい。

◆空き家対策について

問 本町の空き家は令和2年5月発表で315軒、今後も増えると考えられるが。

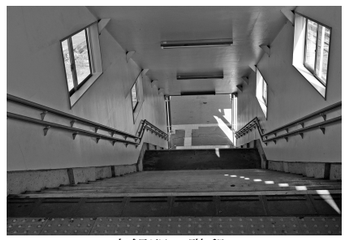
建設管理課長 廃屋などの危険な空き家は、特定空き家として適切に対応し、利用できる空き家は有効活用したい。

問 町道大平寺線及び内野々・新山線は雑草や雑木が車道に覆いかぶさって通行が出来ない状況だが、管理はどうなっているのか。

建設管理課長 樹木や草等で車が通れない状況を確認したので対応していきたい。

架け替えが待たれる竹鳩橋

意見 空き家対策は、町の景観はもちろん、災害時の倒壊により近隣の住宅被害や人命にも関わってくる問題、積極的に取り組む必要がある。町内事業者と情報を共有し迅速な対応を望む。



高鍋駅の階段

「森林の伐採後の造林費用等の支援は」
『再造林・下刈り作業費用等の助成を検討』

橋（はし） 重文（しげふみ） 議員

問 伐採及び伐採後の造林の届出等の制度が適正に運用されない場合の行政の責任は。

町長 関係機関と連携を図り、速やかに対応していきたい。

問 伐採及び伐採後の造林等が適正に運用されない場合、変更、遵守、中止命令等の行政指導をする覚悟は。

農業政策課長 マニュアル通りしっかりやっていく。

問 宮崎県伐採、搬出及び再造林ガイドライン改正後の森林の伐採届出の状況は。

農業政策課長 令和元年度の58件をピークに減少。

問 宮崎県及び高鍋町における伐採後の再造林率は。

農業政策課長 令和2年度、宮崎県72％、高鍋町48％。

問 再造林率を上げる必要性、対策についてはどう考えるか。

農業政策課長 再造林を推進するため、国・県の再造林補助に上乗せする形で再造林補助を行う。

問 高鍋町における森林環境譲与税の配分額及び使途は。

農業政策課長 令和4年度予定額567万円、再造林や下刈り費用も含め検討して、森林整備の促進に努めたい。

◆選挙の投票率向上対策について

問 高鍋町における選挙投票率低下の要因をどう考えるか。

選管事務局長 選挙、政治への関心の低下など。

問 地域差・年齢層等によって投票率に格差があるのか。

選管事務局長 年齢別の集計は行っていない。地域的に大きな偏りはない。

意見 集計するよう要望。

問 投票率を上げるための方策は考えているのか。

選管事務局長 わけもんの主張の開催、ポスター・書道展など。

◆航空自衛隊新田原基地の飛行機騒音状況・対策について

問 南高鍋地域の飛行回数が多いように感じるが、飛行経路の変更はないのか。

総務課長 飛行経路の変更はないが、安全確保の観点から、経路を変更することもある。

意見 国防と理解しているが、地元住民の声も理解してほしい。

再造林された町有林